

令和6年12月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年12月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「重電機器」などが減少したもの、「原動機」、「自動車の部分品」、「ポンプ及び遠心分離機」などが増加したことから対前年同月比15.2%の増加となった。また、輸入は「医薬品」、「重電機器」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等電子部品」、「通信機」などが増加したことから同29.8%の増加となった。

その結果、差引額は111億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,255億円	+15.2%	1,144億円	+29.8%	111億円	▲46.5%
	3カ月連続の増加		19カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 原動機	92億円	+42.9%	輸入	増加品目	(1) 原動機	247億円	+48.5%
		(2) 自動車の部分品	52億円	+38.4%			(2) 半導体等電子部品	162億円	+25.0%
		(3) ポンプ及び遠心分離機	20億円	+93.5%			(3) 通信機	43億円	+264.8%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	114億円	▲10.8%		減少品目	(1) 医薬品	72億円	▲6.1%
		(2) 重電機器	11億円	▲21.8%			(2) 重電機器	13億円	▲24.6%
		(3) その他の化学製品	25億円	▲7.8%			(3) プラスチック	10億円	▲13.3%
	主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少				主要地域 増減	アメリカ、アジア、EUが増加		

（参考）ドルレートは、152.48円（前年同月比3.8%、5.56円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。